

令和元年度茅ヶ崎市まちぢから協議会連絡会 7月定例会議事録

- 1 日 時 令和元年7月10日(水) 午後1時30分～午後2時45分
- 2 場 所 市役所本庁舎4階 会議室1
- 3 出席者 後藤会長、細田副会長、植松副会長、和田会計、弓達監事、矢野監事
関野保、河内昇、篠原徳守、林正明、真野宗直、三觜健一、林申次、
高山和茂、岩壁榮、松本楯臣、小山明、滝本誠、新倉昭人、雫石剛、
前田積、青木三郎、小嶋政雄、小野寺昌成、仲村眞、永澤鐵男の各委員
高齢福祉介護課(田淵課長)
市民自治推進課(富田課長、木村課長補佐、伊藤課長補佐、小松課長補佐、
窪田副主査)
事務局(山田、長野)

4 会議の経過

開会前に事務局より報告した。選任中であった湘北地区の委員が決まり、本日、湘北地区代表副会長の仲村眞委員が出席している。仲村委員には審議会委員として、青少年問題協議会を担当していただくことになった。

(1) 開 会 細田副会長

(2) あいさつ 後藤会長

(3) 議 題

① 新旧委員懇親会の状況について(報告)

資料に基づき事務局より報告した。

② 会報誌「まちぢから」編集委員会及びホームページ管理運営チーム会議の報告

会報誌「まちぢから」編集委員会の報告は資料に基づき事務局より行った。

印刷会社より校正の原稿が届いたので、委員全員に配り説明した。7月24日(水)に編集会議を開き、最終校正を行う。

また令和元年度第2回及び第3回ホームページ管理運営チーム会議の報告が資料に基づき海岸地区真野チームリーダーよりあった。

ホームページ担当者の会議を開催することになった。

③ 先進都市視察及び研修会について

資料に基づき、事務局より説明した。

ア 本年度の視察先については案がなければ、昨年度と同じテーマで、新たな地域コミュニティの取組や拠点について先進市を選定していくこととしたい。

イ 研修会についてテーマを8月の定例会で提案していただきたい。

④ 自治会加入率向上部会について

事務局より、資料に基づき説明した。

役員会による提案です。

自治会の加入率は昨今の住民の価値観の多様化や近隣関係の希薄化、無関心層の増加や高齢化による活動への参加が難しき、役員への負担感のなか、年々減少しています。本日資料としてお付けしていますが、昭和54年には98.17パ

一セントあった加入率が本年は74.94パーセントまで減少しています。自治会はもともとそこに住む人たちがお互いの助け合いや親睦を目的に結成されたものであることから、一般の同じ目的をもった結社などとは違って原則として全世帯加入の考え方に立つものです。本市においてはこの自治会を基盤としてさまざまな目的をもっている団体や地縁に基づく年齢や性別ごとの団体である老人会や子ども会、それから地域の住民の方々を結集して地域づくりを行う、まちぢから協議会、新たな地域コミュニティの取組を旧自治会連合会の区域で展開し、行政と協働で地域づくりを行っていただいているところです。この本市のまちぢから協議会による地域づくりはもちろんさまざまな方々が参画し、さまざまな活動や行事などが行われるわけですが、その底には住民同士の親睦やお互いの思いやりがあることが基本です。自治会の親睦活動が重要なのはそのためです。同じ活動を行うにも親睦がなされ、顔見知り関係で行うのと、まるっきりそういう関係がない方々がおこなうのとは結果に格段の差があるのは容易に想像がつくところです。この大切な基盤である自治会の加入率の低下は本市のまちづくりに重大な影響をおよぼすことから自治会加入率向上部会の設置を提案するものです。

この取組は以前、自治会連絡協議会で平成24年1月から平成25年12月まで2年間にわたり行いました。当時のメンバーは会長、副会長1名、ほかに2名の委員それに市民自治推進課の課長と1名の職員、事務局が加わりました。その中では、行政へのヒヤリング、各自治会へのアンケート調査、自治会加入月間を設けたり、パンフレットなどを作成しました。その後まちぢから協議会の取組が始まったため、少し自治会加入促進の取組がうすまった感があるためここでまた自治会加入への取組を再度行いまちぢから協議会の基礎を固めるものです。メンバーは会長と副会長のうち1名、委員の方を2～4名をお願いしたいと思います。それに市民自治推進課と事務局が加わります。協議の内容ですが3番にある通り状況把握や取組の研究を行います。会議は定例会の後で7月で会報誌の編集委員会が終わりますので、9月の定例会後くらいから始められたらと思います。よろしく願いいたします。

ア 部会の構成は5名前後ということで、会長、細田副会長、三鶯南湖地区委員、岩壁鶴嶺東地区委員をお願いすることになった。

イ 第一回の会議は9月定例会後とする。

⑤ その他

ア 情報交換について

(ア) 茅ヶ崎市内の犯罪発生状況等について

後藤会長より、茅ヶ崎市内の6月末現在の犯罪発生状況等について、資料に基づき説明があった。

振り込み詐欺が6月4件ということになってますが、実際は5月に起きたものなんです。事務処理の関係で6月に4件になってますが、6月は振

り込み詐欺は0件です。後ろの方を見ていただきますと、各地区ごとになっておりますが、だいたい5月の分で6月に事務処理されたという経緯です。これは皆さん方のおかげで昨年は大和市と一位、二位を争ってましたが、今は後ろから数えたほうがいくらの順位で、減少しています。茅ヶ崎警察署から聞いたところ、ほかの警察署からどうしたらこれだけ減るんだという問い合わせがきているそうです。これも私がお話させていただいたんですが、警察も未遂で2件検挙したということで、受け子を逮捕したそうです。昨年にも神奈川県で一番検挙率が高いということもありますし、警察も自治会等へ入って講演等をやっていたり、行政も茅ヶ崎市危機管理委員会で振り込み詐欺を取り上げて、庁内で午前と午後振り込み詐欺防止の放送を流してもらったり、あと市で出す封書に振り込み詐欺の注意喚起の文章を入れたりしています。あと還付金詐欺が問題になっているんですが、還付金も市役所で年に何回かあるんですが、その封書のなかにも還付金詐欺の注意喚起の文書が入っています。あと地域の中で、皆さん方に毎月こういうふうに情報提供して、気を付けていただいている、そういう成果がでてきてるんだと思います。犯罪も含めて警察だけの問題ではなくて、地域だとか行政だとか一体でやるのが犯罪抑止につながっていると思いますので、この犯罪状況を見てもひったくりが6月は0ということで5月までは10件あったんですが、この前お話ししたように私の家の前でひったくりがあって、それが昼間だったので、すぐ警察が捕まえたんですが、犯人は高校1年生です。今年中学校を卒業した悪いグループらしいんです。1人、2人じゃなくて、グループでやってたと、特に円蔵で3件だとか、そういうようなことで、捕まったおかげでひったくりが6月は0ということで、これからもひったくりは減るんじゃないかという警察の話でした。それから置き引きの件については湘南地区は3件ということで、これも確認したら、湘南地区の中島にパチンコ屋さんがあって、そこで2件置き引きがあった。台のところに財布高を置いているのを持っていかれたり、それからお風呂屋さんがその裏にあるんですけど、そこでも1件あったということで3件です。置き引きはほとんどがパチンコ屋さんとかお風呂屋さんで起きています。交通事故については、325件発生で、一昨年と比べるとマイナス32件ですが、やはり高齢者、自転車、子どもの事故が神奈川県からみると、まだ多いという状況ですので充分気を付けていただきたいと思います。警察署が先日、内覧会をやりまして何人かの方はご覧になったと思いますが、今週から新しい場所に移りました。

(イ) 松浪地区と浜須賀地区のまちぢから協議会の会報誌の提供があった。

(松浪地区委員) コミュニティセンター開館5周年になります。この記念式典とまつりを10月6日に予定しております。

(ウ) 小出地区から情報提供があった。

(小出地区委員) 先般、小出地区のよみがえったピアノのことをご紹介しまし

た。その活用について検討しておるんですが、きっかけは6月12日の連絡会の新旧懇親会の席上で海岸地区の林会長から小出のピアノ物語の説明に感動した。茅ヶ崎駅に駅ピアノ、NHKのBSで放送してますね。あのようなものしたらどうかと、そして広く茅ヶ崎市民と駅の利用者に開放して、弾いてもらったらどうかというご提案をいただきました。持ちかえりまして、小出地区のまちぢから協議会の役員会に諮ったら、ぜひやろうということでした。それで実は昨夜、ラスカの茅ヶ崎営業部販売促進課長にお会いしまして、企画内容を説明しましたら、全面的に協力してくれるという確約が取れました。やる時期については効果的な時期はいつかということで、今後打合せしながら時期は決めていきたい。それから駅の構内ということで駅の詳細も取らなくてはいけない、これはラスカの課長が駅長と面談して許可を取ってくれます。通常ラスカを使った場合は使用料を取られているんですけど今回は無償で提供してくれます。かかる費用としては運搬費用とか、調律の費用、当日配るパンフレットや印刷費などがかかるとは思いますが、これから細部を決めていきたいと思えます。皆さんのご協力をお願いしたいと思えます。

(エ) 会長から情報提供があった。

昨日、民生委員児童委員の推薦会がございまして、私と篠原委員も出席してるんですが、そのなかで11月末で新しく替わるということで、すでに各自治会長さん含めてご協力をいただいて、内申をしていただいておりますが、6月末現在で締めをして、昨日その内申書をもとに推薦会を行いました。見ていただくと、定数、民生委員の地区担当が302名なんですが、内申数が257名でマイナス45名です。そして民生委員の中で主任児童委員が各地区2名ずついらっしゃるんですが、これは26名中21名ということで欠員が5名ということで、トータル50人の欠員だそうです。これについては前回、3年前の時と比べると大幅に増えている。ここ両日で5人ぐらい内申が出てくるようなので、50人から少し減ってるとは思いますが、こういう状況ですので各地区の自治会長さんを含めて、これから県に申請するんですが、8月上旬に市の最終的な推薦会を行いますので、7月末ぐらいまでに欠員のところについては、お話をさせていただいて欠員ができるだけ少なくなるようにしていただければと思えますので、よろしくお願ひします。8月22日に県のほうに報告するんですが、これを過ぎますと来年の2月にまた推薦会があるので、この次は、県への報告されるのが、来年の4月になるので、半年位間が空いてしまうので、民生委員が不足しているところはほかの方に負担がかかることになるので、できるだけ欠員がないような状況にしていきたいと思えますし、私もその推薦会の中で自治会長も一生懸命探していただいているので、あと職員の方々も、いろいろな経験をしているので、職員の方も定年になって再雇用するときに、できるだけ民生委員になってほしいというぐらいのことを言っていたきたい。そういうこともやりながら、そうすれ

ば自治会長も市の職員も頑張ってくれてるんだなということがわかれば、気持ちも少しは楽になるんじゃないかと思います。ぜひそういうことも含めてよろしく願いいたします。篠原さん一言ありますか。

(篠原委員) みなさん一生懸命やってもらっていますけれど、なかなか補充がうまくいかない。もういってみたら各自治会もみんなでやらないと難しいかもしれません。なかには忘れてて、昨日推薦委員会やってるときに届いたということもありました。

(オ) 小出地区から問題提起があった。

(小出地区委員) 小出地区なんですけど、主任児童委員に欠員がでちゃったんですけども、その欠員の理由が、若い女性にやっていただいていたんですけど、自分の親の介護で状況がどんどん悪くなって介護に専念しなくてはいけない、どうしてもでれない。代替の人見つけてください。年齢が65歳以下ってなってるんですね。そうしますと壁がありましてちょうど適任の年齢を考えますとみなさん介護してるんですよ。どうしてもできないっていう人が多い。それでたまたまうちの町内にいた学職の経験者がいたのでお願いにいたら快く受けてくれたんです。で申請しようとしたら年齢制限でだめだっていうんですね。年寄りでも前向きにやってくれる人がいるんですけども、年齢制限がネックになっているんです。私も立場上50歳くらいの人にアタックしたんですけど、全部だめでした。困ってます。年齢の壁なんとかならないのか。

(篠原委員) 主任児童委員はできたら推進協の人たちに声をかけると、茅ヶ崎南地区も推進協に声をかけてなってもらっています。やっぱり子どものことが中心になるもんですから、意外と推進協の方が受けやすいんじゃないかなと思います。

(委員) 私もそういう形でアタックしてるんですけど、具体的に直接交渉するとほとんどだめです。

(会長) 先ほど言いましたように7月末ぐらいまで、まだ間に合いますのでよろしく願いします。ほかに情報提供ありますか。

(カ) 茅ヶ崎地区より情報提供があった。

(茅ヶ崎地区委員) 茅ヶ崎地区で、毎回市民集会の時にあがっているのは自転車問題です。これは駅が地区の中にあるということでJRの北茅ヶ崎駅と茅ヶ崎駅の2カ所ありますんで、かなり自転車の問題が大きく浮かび上がります。毎年毎年、市民集会で課題が上がるんですが、なかなか進展はないということで、今回、視察の中で大崎にあります自転車文化センターというところに行くことにいたしました。ここはただ我々が行って見るだけでなく、前もって学芸員の方が来ていただき、実際に通勤時間の6時から8時にかけて見ていただいて、なおかつ昼間は買い物の人たちがどういうふうに動くかを見てもらいました。見てもらったのは一里塚、保健所のところ、それから国道一号線のところを重点的に見てもらいました。結論から言うと即効薬は

なかなかない。徐々に徐々にみなさんに啓蒙活動をやっていくしかないということなんですが、ただ茅ヶ崎の場合には、歩道に自転車が一緒に走るようになってきているが、せっかく自転車と分離されているんだけど、それが途中で消えちゃってわからなくなってるよとか、そういうところが結構あること、それから交差点の自転車の斜め横断が多い飯島交差点とか保健所のところの交差点は歩車分離になってますんで、どうしても斜めに自転車が横断することがあるんで、そのへんが指摘でした。あと一つ茅ヶ崎がほめられたところがありまして、特に保健所のところでは見守り隊の方々がたくさん見ていらっしゃるなかで、こうしてくださいという言い方ではなくて、「自転車を降りてくれてありがとう」という声かけをしている。これはすごくいいことじゃあないかと、大人はほめられることがなくなるんで、そういうことをほめてもらうということは非常に受け入れやすいんで、そういうのはすばらしいなと思いましたというような話がありました。まあこれを機会に私たちはどちらかという自分たちの地区の人が自転車で駅まで行く人はなかなか少ない、そうすると他地区の方が入ってくることが多いもんですから、自分たちの地区だけの話し合いではだめで機会をみて他地区の方との交流を図りながら、少しでも自転車問題の解決に取り組んでいきたいなといった思いでございます。以上簡単ですが、ご報告をさせていただきました。

(会長) 自転車の関係は、交通事故の問題もありますし、先ほどの犯罪の発生状況の報告のなかでも自転車盗が茅ヶ崎地区だとか茅ヶ崎南地区など駅の近いところはやはり多いということがございますし、これも5、6年前は神奈川県で一番茅ヶ崎が多かったんですが、いろいろしていただきまして、だんだん減ってきましたして今は10番目ぐらいなんですけど、その時市役所に市営駐輪場にある自転車の施錠していないのが、どれくらいあるのか調べてくださいと言って調べてもらいました。だいたい8パーセントぐらいが無施錠なんです。東京では鍵かけ条例という、鍵をかけていないのには行政で鍵をかけてしまって、鍵をかけてないと乗って帰れないというところもあるんで、そういう対策も考えてくださいと言ってらんです。これは青少年の犯罪が結構多いので、逆に駅まで行くときにちょっと自転車を借りていこうとか、バス代がもったいないとか、そういう例がありますので、こういうことにも目を光らせながら、犯罪件数が少なくなればもっとまちがよくなると思いますんでよろしくお願いします。

(キ) 海岸地区より情報提供があった。

(海岸地区委員) 昨日市役所の産業振興課とイベント会社の人に来て、今年も10月の19日にサザンの花火大会をやるということで、隣接している海岸地区、中海岸、茅ヶ崎南地区、南湖地区などに話があったようです。去年はサザン40周年記念でやるということで、相談があった時には私たちはまず、ごみの問題とトイレの問題、それからあと警備の問題をしっかりと、

地域住民を配慮してくれとお願いしてあったんですが、一応その辺のところは非常によくできて、茅ヶ崎観光協会が実行委員になって非常に素晴らしい花火大会になって、今年もまたやりたいとのことで、一応副会長とお会いして、やはり同じように、警備の問題、ごみの問題、トイレの問題をしっかりとってもらうように、それと33,000席を作る、有料で1席5000円ぐらいで、規制が野球場から海水浴場の西側までを全部規制する。市の産業振興課もぜひご協力をということなんですが、1企業のイベント事業に対して市が全面的に協力するのはいかなものかというのは多少あるんですが、去年はサザン40周年で1回だけということだったんですけど、今年もやって、あそこはサイクリングロードで、市民の散歩の場所でもあるわけですね。それを全部規制して通れなくする。プライベートビーチにしてしまう。椅子を33,000席とって、1席、去年は4,300円今年は少し上げて5,000円ぐらいになると思うんですが、それでやるということで、地域への配慮をもう少ししてくれと、例えば野球場を借り切って近隣住民全部に券を配って迷惑かける代わりに、どうぞ見に来てくださいとか。くれという意味ではありませんが、もう少し地域に配慮してほしいということを要望しました。一応公共の海岸を1企業がビジネスのために占拠して、それを市が応援する姿勢自体いかなものかなと思うんですけれども、これからやる以上そういうことをよく配慮してやってほしいということを強く要望いたしました。

(4) 行政からの依頼事項等について

① 茅ヶ崎市在宅高齢者実態調査報告書の発行について

高齢福祉介護課長より、資料に基づき説明した。

(会長) ちょっと教えていただきたいんですが、1ページ目の有効回収率93.9パーセントで次のページの(3)地区の割合が例えば湘北地区の割合が13.3パーセント、これは、全体の100パーセントのなかの13.3パーセントという意味ですか。

(答) 今概要版のほうをご覧くださいしておりますが、修正が必要で、この後修正をさせていただきたいと考えておりますが、こちらは本編の報告書17ページにございます図の3-1が地区別の回収率でございます。こちら概要版の(3)に書いてございますのが、18ページの3-2、各地区の回送部数の割合こちらのほうをお示ししているものでございます。お答えいただいた方の何パーセントがその地区にお住いの方かの棒グラフになっております。

② 「まちちから協議会への効果的な支援の在り方」に関する意見交換について

市民自治推進課長より、資料に基づき説明した。

主な質疑は次のとおり。

(会長) 今お話がございましたように、意見交換会をやりたいということで、日程を市民自治推進課と調整していただいて、決めていただければと思います。

(答) みなさまと議論するための資料の再確認をしたうえで、週明けぐらいには連絡をさせていただきたいと思います。

- (問) この意見交換会というのは対象は各地区の例えば運営委員全体とかですか。
- (答) 会長初め、役員の方々というイメージをもってます。地区によってはもう少しひろげたいとか、実務担当者があるんだとか、その辺は今後日程調整するなかで、どういった範囲がいいのか、地区ごとに調整させていただきたいと思います。
- (問) 各地区ごとに意見交換をするのは大変ありがたいんですけども、正直言ってほかの地区のことがわかってるようで、わからない。例えば小和田地区の場合まだ自治会連合会が残ってまして自治会の負担金を少々だけでももらってて、防災訓練なんかは連合会が責任もって現在もやってるんです。基本的にまちぢから協議会で全部やったほうがいいというのは本来の趣旨なんだろうとは思いますが、そういった場合に、いまある25万円ですか。25万円の運営費だけで、各地区みんなやってるんですかということを感じるんですね。今お答えいただかなくてもいいんですけども、とりあえず各地区に行政のほうで、あなたの地区はこういう問題があるんだよということがあるんだとすれば、その時に茅ヶ崎市全体としたらこんなふうに各地区やってるんだよという情報提供をお願いしたいんですけど可能なんでしょうか。
- (答) 毎年各地区からは事業報告、実績報告、決算報告をいただいております。そういったものを把握しておりますので、そのなかで市全体としてどうしていくかというのは、正直まだ至っていないんですが、そろそろそういったことを含めた、より効果的な支援というものを考えていきたいと思っております。今のご意見の視点を含めて準備をしていきたいと思っております。
- (5) 閉会の言葉 植松副会長